令和元年
内閣官房
国税庁報酬
第九編

KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Inches Centimetres

114
A 1842
94

宮内省圖書寮

合衆王國内國税年報編纂書

第九編

所有物税及ト所得税

千八百六十八年及ト千八百六十九年第三月三十一日ニ終ル年度間ニ於テ所有物税及ト所得税ノ全收額ハ左ニ表出スル所ノ如シ

		第三月三十一日ニ終ル年度間 千八百六十八年分	千八百六十九年分	增額	減差
イ	ノ科目ニ屬スル分	二、一七六、七三六	三、〇八三、一七九	九〇六四四三	、、、、
ロ	ノ科目ニ屬スル分	二九四、九七〇	四一七、九〇九	一二二九三九	、、、、
ハ	ノ科目ニ屬スル分	五八五、三八六	八四七、一三三	二六一、七四七	、、、、
ニ	ノ科目ニ屬スル分	二、七四九、七六七	三、七五四、一九四	一、〇〇四、四二七	、、、、
ホ	ノ科目ニ屬スル分	三七七、三〇七	五二一、〇九二	一四三、七八五	、、、、
通計		六、一八四、一六六	八、六二三、五〇七	二、四五九、三四一	、、、、

大正十一年四月 侯爵鍋寺贈

所得税ノ事

千七百九十八年彪土氏ハ皇帝陛下ニ戦争ノ扶助金ヲ奉獻スル
ノ法令ト称スル税法ヲ制定施行セリ蓋シ此税法ニ據ルニ其實
ハ新タニ所有物ニ税ヲ課スルニ非ス唯々雜税ヲ收納シテ一ヶ年
六十磅以上ノ所得ヲ享クル者ニ雜税ヲ增課スルニ外ナラス而
シテ此税法ニ從ヒ增課ノ初年ニ收入シタル全額ハ百八十五万
五千九百九十六磅ナリトス

千七百九十九年惹再日三世第十三章ノ法ヲ以テ前ノ千七百九
十八年ノ税法ヲ廢止シ之ニ代ルニ所得税一割ヲ以テシ各民所
得ノ淵源ハ何ノ種ニ出ルヲ問ハス各々其全額ノ申述書ヲ呈セ
シメ而シテ一ヶ年六十磅未満ノ所得ヲ享ル者ニハ悉ク其税ヲ
免除シ六十磅ヨリ二百磅ニ至ルノ額ヲ享ル者ニハ其税率ヲ輕
減セシカ此年ニ收入スル所ノ税額ハ六百〇四万六千六百二十
四磅ナリキ

千八百三年ニ於テハ從前施行スル所ノ所得ノ全額ニ就テ申述
書ヲ呈セシムルノ法ヲ廢シテ各種ノ所有物及ヒ利益ヨリ生ス
ル所得ノ起源ニ課税スルノ法ヲ設ケ恰モ今日ノ税法ニ於ケル
カ如ク類ヲ分テ〔イ〕〔ロ〕〔ハ〕〔ニ〕〔ホ〕ノ五科目トス蓋シ此税法ニ據レハ
一ヶ年六十磅ヨリ百五十磅未満ノ所得税ヲ享ル者ニハ一磅ニ
付三邉尼ヨリ十一邉尼マテヲ課シ百五十磅以上ヲ享ル者ニハ
五分ヲ課シタリ然リ而シテ農民ノ利益ニ課スル税ハ普通ノ商
業及ヒ生業代言人及ヒ醫師等ノ如キ者ヲ云フニ於ケルカ如ク其利益ノ現收額
ヲ申述セシメス英倫ニ於テハ地代ノ四分三トシ蘇格蘭ニ於テ
ハ地代ノ半額ト定メ又一ヶ年六十磅未満ノ所得ヲ享ル者ニハ
其所得ノ何ノ淵源ニ出ルヲ問ハス悉ク其税ヲ免除シ且貸金ノ
利子ヲ除クノ外ハ恰モ從前ニ於ケルカ如ク所得ノ額ヲ減シテ

課税スルヲ得セシメシカ既ニ如斯ク所得ノ起源ニ課税スル以上ハ其所得ノ額ヲ減シテ課税スル法ハ全ク無益ニ属スル者ナリト云ハサル可ラス

抑々所得ノ起源ニ課税スルノ法タルヤ其要旨ノ在ル所ハ當時政府ノ布告スル説明書ニ於テ瞭然ナリトス其言ニ曰ク従前ノ税ハ所得ノ何ノ淵源ニ出ルヲ問ハスシテ其全額ニ課シ這回ノ税ハ其淵源ノ類ヲ分チ最初ノ所有者ニ就テ先ツ之ヲ課シ其税ノ展轉シテ前後ノ所有者ニ帰スルヲ得セシム是故ニ所得税ハ地主、相續人ニ課セスシテ借地人ニ課シ金主ニ課セスシテ負債ノ償却ニ宛ツヘキ資金ニ課ス苟モ各種所得ノ錯雑混淆セル者ヲ簿記中ヨリ輯集セシムル無ク唯々所得ノ生スル起源ニ就テ其税ヲ課セハ啻ニ其方法ノ簡便ニシテ收税ノ確實ナルヲ致スノミナラス其税ハ最初ノ所有主ヨリ展轉シテ最後ノ所有主ニ帰スヘク而シテ人民ハ資産ノ多寡ヲ公衆ニ露布スルノ患ナク又政府ハ更ニ其歳入ノ確實ナルヲ得ヘシト云云況ンヤ人民ノ所得ニ就テハ税務ヲ掌ル者ト雖モ課税ノ全免或ハ減免ヲ要ムルニ非サルヨリハ決シテ其多寡ヲ知ルヲ得サルニ於テヲヤ然リ而シテ該税法ヲ新設施行スルニ際シテハ其税率ヲ五分ニマテ軽減シタルモ其收額ニ至テハ千七百九十九年ノ一割税タルノ時ニ減セサリキ

千八百三年ヨリ千八百六年ニ至ルノ間ニ於テハ所得税法ヲ改正スル蓋シ一ニシテ足ラスト雖モ其根理ニ於テハ敢テ之ヲ変更スル丁無ク唯々千八百六年ニ於テハ再ヒ其税率ヲ増シテ一割トシ且従前實所有物ヨリ生スル所得ノ額ハ一ヶ年六十磅以下ヲ享ル者ニ其税ヲ免除スルノ法ヲ改メテ五十磅以下ニ限リ又一ヶ年五十磅ヨリ百五十磅ニ至ルノ所得ニシテ商業生業及

ヒ勤務ヨリ生スル者ニ限リ加率税ヲ課スル等ノ改正アルニ過キス然リ而シテ此改正ノ原由ハ當時所得税務官吏ノ刊行スル書冊中ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ拔萃ス

一ヶ年六十磅以下ノ所得ニ課税ヲ免除スルノ法ハ其實六十磅以下ノ所得ヲ享ル者ニ限リ之ヲ施行シ其他ニ及ホス可ラサルノ旨趣ナルニ豈料ランヤ豊富ノ活計ヲ營スル者ニシテ其所得ヲ六十磅以下ナリト申述シ其一歳ノ費額ヲ問ヘハ自ラ申述スル所得ノ額ニ倍蓰スルモ敢テ浪費ノ罪ヲ問フヲ得ス其弊ヤ區内ノ所得税ハ概子之ヲ課スルヲ得サルニ至レリ

於是乎政府ニ於テハ所得税ヲ免除スルノ區域ヲ五十磅以下ニ限ルヲ得策ナリトセリ云云

従来公債証書ノ利子ハ所得ノ一部ト為シ其持主ニシテ之ヲ申述セシメシニ此年千八百六年ニ至リ所得ノ起源ニ就テ課税スルノ旨趣ニ基キ其持主ヲシテ申述書ヲ呈セシメムルヲ止メ銀行者ヲシテ公債証書ノ利子ヨリ所得税ノ額ヲ引去ラシメクリト雖氏其實ニ外國ニ住居スル外國人ノ持有ニ係ル者ハ之ヲ不問ニ付シクリ又此法令ヲ以テ或ハ家屋ノ修繕ニ供シ或ハ子女ノ負数衆多ナルカ為メ所得税ヲ減免スルノ特例ヲ廃止シ而シテ其性命保險ノ為メニ所得税ヲ減免スルノ特例ハ之ヲ一ヶ年百五十磅以下ノ所得税ヲ享ル者ニ限レリ

千八百十六年ニ於テハ全ク所得税ヲ廃止シ千八百四十二年「ロベルト、ピール」氏ノ執政ノ時ニ至リ之ヲ再課セシカ其之ヲ再課スルノ旨趣タルヤ戦爭ノ費額ニ供スルニ非スシテ政府歳入ノ不足ヲ補ヒ併セテ全州ノ製造貿易ヲ進捗セシメンカ為メナリ然リ而シテ其税法ノ原礎ハ敢テ千八百六年ニ行フ所ニ異ナル無ク即チ所得ノ額一磅ニ付七邊尼ヲ課シ一ヶ年百五十磅以下ノ

所得ヲ享ソルモノニハ悉ク其税ヲ免除シタリ

千八百四十二年ノ法令中殊ニ緊要ナル者ハ特殊委員ヲ新設スルノ一項トス蓋シ此法令ノ目的タルヤ〔二〕ノ科目ニ於ケル納税者ヲ保護シテ其所得ノ額ヲ他人ニ聞知セシメサルニ在ルヲ以テ其條款中凡ソ〔三〕ノ科目ニ於ケル納税者ハ其申述書ヲ地方委員ヲ經由セスシテ直接ニ特殊委員ニ呈シ特殊委員ニ於テ課税セラレンヿヲ請求スルヲ得ヘシトノ一項ヲ載セタリ於是乎納税者ハ申述書ヲ封緘シテ撿査官ニ呈シ總テ政府ニ於テ命スル所ノ税官ニ托シテ課税ノ處分ヲ承ケ若シ納税者ニ於テ其課税ニ滿意セサル時ハ之ヲ特殊委員ニ控訴シ又該委員ノ判決ヲ以テ不當トスル時ハ本寮ノ裁決ヲ仰クノ法始ノテ行ハル今茲ニ千八百六十八年間大貌列顛國内特殊委員ニ於テ課税シタル員數等ヲ示サハ

	員數	課税ノ額 磅
鉄道會社、該會社ノ役員、外國及ヒ植民地ノ公債証書ノ利子并ニ坑山等ノ税ヲ除クノ外他ノ特殊ノ課税ニ属スル分	二、三八八	八、五二六、四一九
鉄道會社税	一九四	一八、七二二、八五六
鉄道會社役員税	七、〇〇〇	八四五、〇〇〇
外國及ヒ植民地ノ公債証書ノ利子税	、、、、	九、三七八、八四〇
金属坑及ヒ石坑税	五六	八〇、三六八七

ニシテ其人員ハ僅ニ三十八萬名ニ過キス夫レ斯ノ如ク特殊ノ課税ヲ要ノテ其所得ノ額ヲ隱蔽スル者ノ僅々タルハ豈ニ驚歎スヘキ非スヤ

夫レ各種ノ所得税ヲ所得ノ起源ニ就テ賦課スルヤ例令ハ米典者、地主、公債証書ノ持主、會社ノ株主ノ如キ其人ノ所得ノ總額タル或ハ其税ヲ全免シ百磅以下或ハ六十磅ヲ減シテ其税ヲ課ス

ヘキ者ニ係ルト雖モ此数人ハ既ニ他人ヲ經テ其税ヲ納メ其額ヲ減シタル所得ヲ受クルカ故ニ或ハ其税ヲ全免レ或ハ六十磅ヲ減シテ其税ヲ課スルノ税法ニ基カシムルニハ唯々特殊委員ノ証票ニ照シテ既納税ヲ返付スルノ一路アルノミ然ルニ此既納税ノ返付ニ就テハ既ニ地方委員ニ於テ之ヲ保証シタル後既納税ノ返付ヲ請フ者ノ所得ハ果シテ全免減免ノ特典ヲ有スル者ニ係ル乎或ハ其人ノ所得ニ就テハ既ニ課税シタル乎ヲ点檢セサル可ラサルヲ以テ本寮官吏ノ労タル實ニ尠少ニ非サルナリ況シヤ此他ニ賑救金或ハ生命保險料ノ為メニ允可シタル特典ニ對シテ既納税ヲ返付セサル可ラサルニ於テヲヤ然リ而シテ現ニ昨年間此数種ノ特典ノ為メニ既納税ヲ返付シタル員数ハ實ニ十一万二千八百七十七ノ多キニ及ヘリ且夫レ此等ノ特典ハ既ニ法令ノ允可スル所ナリト雖モ数年ヲ跨リ既納税返付ノ要求ニ應スルハ啻ニ底止スル所ヲ知ラサルノミナラス亦為メニ許多ノ簿書ヲ保存セサル可ラサルノ患アリ是レ千八百六十年ノ法令ヲ以テ既納税返付ノ期日ヲ三年間ニ限ル所以ナリ

千八百四十二年ニ於テハ從前千八百六十年英倫ニ於ケル農民ノ所得税ハ地代ノ四分三ナルヲ減シテ地代ノ半額トシ又蘇格蘭ニ於ケル所得ハ地代ノ半額ナルヲ減シテ地代ノ三分一トシ且特殊委員ハ農民ニ於テ本税ノ額ニ五分百分ノ五ヲ加ヘテ收納スル時ハ三年間ハ其税ヲ免除スルヲ得ヘシトノ令ヲ發セリト雖モ千八百五十一年第四月五日維多利亜法令第八章ノ廢停スルニ至テ特殊委員ニ於テ課税ヲ免除スルノ權モ亦比シク廢棄ニ属セリ是レ蓋シ所得税ハ唯一年間之ヲ課スル者クレハナリ

「ロベルト、ピール」氏カ所得税ヲ再課スルノ初年ニ當リ大貌列顛國ノ全收額ハ五百六十万八千磅ナリキ此時以来千八百五十三

年ニ至ルノ間ニ於テハ所得税法ヲ改正スルヿ甚タ尠ナク唯其間ノ改正ニシテ記載スルニ足ルヘキモノハ維多利亜第十二章ニ據リ耕作ノミニ因テ生計ヲ営ミ課税ノ年ヲ終ルニ臨ミテ英倫ニ於テハ現ニ地代半額ノ收獲ヲ得ス又蘇格蘭ニ於テハ地代三分一ノ收獲ヲ得サル者ハ猶商業及ヒ生業ノ場合ニ於ケルカ如ク地方委員ノ前ニ至リ其實收額ヲ告ケテ課税ノ減免ヲ請求スルヲ得ヘシト令スル即チ是ナリ然リ而シテ此減税ノ特典ハ千八百五十三年ニ至テハ更ニ一歩ヲ進メテ耕作ノミニ因テ生計ヲ営ム者ト否トノ別ヲ問ハススベテ之レヲ借地人ニ有セシメタリ

千八百五十三年第六月廿一日哥剌土斯頓氏ハ更ニ七年間ヲ限リ所得税ヲ再課スルノ法ヲ施行セリ蓋シ此法ニ據レハ始メ二年間ハ原来ノ税法ニ從テ一磅ニ付七邉尼ト定ノ次ノ二年間ハ六邉尼最後ノ三年間ハ五邉尼トシ千八百六十年第四月五日ニ終ル年度ヲ以テ全ク之ヲ廃止スルニ決シ〔口〕ノ科目ニ属スル税率ノ如キモ亦前ノ比例ニ從テ之ヲ定メ其從前百五十磅以下ノ所得ヲ享ル者ニ其税ヲ全免スルノ法ヲ廃シテ百磅以下ニ限リ其百磅ヨリ百五十磅ニ至ル所得ヲ享ル者ニハ一般ノ税ヲ課セスシテ七年間ハ毎年一磅ニ付五邉尼ト定メタリ蓋シ百磅ヨリ百五十磅ヲ享ル者ノ所得總額ハ大貌列顛國内ニ於テハ千四百四十六万七千三百磅ナルヲ以テ之ニ五邉尼ヲ課スルトキハ即チ三十万千三百二十磅ヲ收ムルノ割合ナリ

千八百五十三年ノ法令中殊ニ緊要ナル者ハ始メテ愛尔蘭ニ於テ所得税ヲ課スルノ條款ナリトス抑々雑税法ノ英倫ニ於ケルヤ既ニ所得税ヲ課スルノ基礎ヲ為スト雖モ愛尔蘭ニ於テハ從来雑税ヲ課シタルノ例ナキヲ以テ其所得税ヲ課スルノ法ハ全

ク之ヲ新設セサル可ラス故ニ愛尔蘭ニ於テハ其英倫ニ在テ收
稅區ノ普通委員及ヒ特殊委員ニ任スルノ職ハ專ラ之ヲ特殊委
員ニ委子其英倫ニ在テ地方課稅吏ニ任スルノ職ハ之ヲ檢査官
ニ委子且特殊委員ヲシテ收稅吏ヲ命セシムルノ制ヲ定メタリ
此他愛尔蘭ノ所得稅課收法ニ於ケル之ヲ英倫ニ比スレハ許多
ノ差異アリト雖ヒ其事クル頗ル細陳ヲ要スルヲ以テ姑ラク之
ヲ措キ今其最モ緊要ナル部分ヲ摘挙セハ〔イ〕及ヒ〔ロ〕ノ科目ニ屬
スル所得稅ハ英倫ニ於ケルカ如ク一歲ノ實額ニ因ラス偏ニ濟
負稅ニ準據シテ之ヲ課スルカ故ニ其平均ハ所得ノ實額ニ比ス
レハ二割ヲ減スル者トス然リ而シテ此時ノ法ニ據レハ愛尔蘭
ノ農民ノ所得稅ハ猶蘇格蘭ニ於ケルカ如ク地代三分一ト定メ
リ
又此法令ヲ以テ許多ノ稅法ヲ改正シ即チ生業上ノ所得稅ハ從

前ノ如ク前年間ノ純利ニ課スルノ法ヲ止メ恰モ商業ノ所得稅
ニ於ケルカ如ク前三年間ノ平均額ニ從テ之ヲ課シ其〔イ〕及ヒ〔ロ〕
ノ科目ナル地所及ヒ借地上ノ所得稅ニ就テ課稅ノ不當ナルヿ
ヲ控訴スルモノニハ自ラ評價人ヲ選テ估價セシメ其估計ニ從
テ所得稅ヲ納ムルヲ得ヘキノ權ヲ與ヘ又新タニ宗教師及ヒ政
府官吏ニ於テ公務ノ為メニ費消シタル所得ノ額ハ之ヲ除テ課
稅スルノ法ヲ設ケ其〔ハ〕ノ科目ニ屬スル所得稅ニハ曾テ親友會
社ニ於テ享有スル所ノ免稅ノ法ヲ施シ〔ロ〕及ヒ〔ハ〕ノ科目ニ於ケ
ル納稅者ニ於テ所得稅ヲ納メ其年ノ終ルニ臨ミ所得ノ全額百
磅ニ下ル時ハ從前ニ在テ唯其年ニ享ル所ノ所得ノ額ニ因テ減
稅スルノ例ヲ廢シテ更ニ其稅ヲ全免スルノ法ヲ設ケ又生命保
險料ノ為メニ所得ノ全額ヨリ六分一ヲ減シテ其稅ヲ課シ以テ
其稅ヲ全免シ或ハ六十磅ヲ減シテ其稅ヲ課スルノ舊法ヲ廢シ

タリ

魯西亜戰爭ノ起ルヤ千八百五十四年第四月五日ヲ以テ所得稅ノ率ヲ增重シ其翌年第四月五日ニ至テハ更ニ一ヶ年百五十磅未滿ヲ享ル者ニハ一邊尼半ヲ增加シタルカ故ニ百五十磅以上ヲ享ル者ノ稅ハ彼此ヲ併セテ一司令四辺尼ニ至リ其百磅ヨリ百五十磅未滿ヲ享ル者ノ稅ハ十一辺尼半ニ至レリ蓋シ如期ノ所得稅ヲ增課シテ一司令四邊尼ニ至ラシメント欲シ為メニ布告シタル法令ニ據ルニ此稅ハ和親條約ノ批准ノ日ヨリ一ヶ年ヲ終リ其年ノ第四月六日ニ至ラサレハ之ヲ廢止セサルヘシトノ一款ヲ載セタリ然ルニ夫ノ和親條約ハ千八百五十六年度ニ至ルマテ之ヲ批准スルニ至ラサリシカ故ニ所得稅ヲ增課スルノ法令モ亦千八百五十八年第四月五日ニ至ルマテ之ヲ施行スルヲ得ルニ拘ラス既ニ千八百五十七年ヲ以テ其稅ヲ一磅ニ付七辺尼ニマテ減シタレハ〔イ〕〔ロ〕ノ科目ニ於ケル所有物及ヒ所得ハ大ニ其額ヲ增加シ即チ〔イ〕ノ科目ニ於テハ九百三十四万千磅ヲ增シ〔ロ〕ノ科目ニ於テハ三百二十二万八千磅ヲ增シタリ

千八百五十八年ニ於テハ所得稅ニ関シテ更ニ法令ヲ新設改定スルヿ無シ是ヨリ先キ千八百五十三年ニ於テハ豫シメ千八百六十年第四月五日ニ至ルマテ毎年課收スヘキ所得稅ノ率ヲ定メタリト雖モ既ニ魯西亜戰爭ノ起ルニ遭テ其原法ヲ紊乱シタレハ其將来ノ為メニ制定シタル稅法ハ之ヲ千八百五十八年ニ至ルマテ實踐スルヲ得サルノミナラス千八百五十八九年間ニハ一磅ニ付五邊尼ヲ課シ千八百六十年第四月五日ヲ以テ之ヲ廢止スヘキノ法ハ全ク徒ラニ屬シタリ然ルニ千八百五十九年ニ於テ政府ノ歳出ヲ增多スルヤ本年第八月ヲ以テ一磅ニ付四辺尼ヲ增課スルノ令ヲ發シ其全額ヲハ千八百五十三年ノ法ニ

據テ賦課シタル五辺尼税ノ半額ニシテ即チ第一期ニ納ムヘキ者ト共ニ收入シタレハ其結果タルヤ前半年間ノ納税額ハ一磅ニ付十三辺尼ニシテ後半年間ハ僅ニ五辺尼ヲ為シ其増課税ノ全額ハ豫ノ期スル所ノ年度間ニ收入スルヲ得クリキ

千八百六十年ノ所得税ハ一磅ニ付十辺尼ナリトス然リ而シテ此年ニ在テ所得税法ニ於ケル緊要ノ改正ハ毎半年ノ納金法ヲ廃シテ毎年ニ納金セシムルニ在リシカ抑々従来ノ慣例ニ據ルニ人民ノ所得税ニ於ケルヤ之ヲ納ムル必ラス毎季ニ於テスルモ地方ノ收税吏ヲシテ其税金ヲ納付セシムルハ一年間二回ナルニ過キス加之地方收税吏ハ地方ノ官吏ニシテ政府ノ官吏タルニ非サレハ苟モ本寮ヨリ收税吏ニ議ルニ毎季納金ノ事ヲ以テセハ恐クハ之ニ抗拒スル者ナカルヘキモ既ニ法令ニ明文ナキ以上ハ地方官吏ニ於テ之ニ抗拒スル無シトハ云ヒ難ク現ニ本寮ニ於テハ毎季納金ノ事ヲ議ルニ當テ二三ノ抗拒スル者アルニ遭ヘリ之要スルニ今ヤ毎季納金法ハ收税吏ニ於テ之ヲ遵奉シ概子其期日ヲ謬ラストハ云ハサル可ラス

今夫レ期ノ如ク税金納付期限ヲ変更スル所以ノ者ハ當年間ノ總税金四分ノ三ヲ其年ニ納付セシメ且千八百五十九年度ノ下半年ノ納金期日ハ第三月二十日ニナルヲ以テ翌年ニ至ラサレハ支出スルヲ得サル者ヲ其年ニ納付セシムルニ在リ然リ而シテ此毎季納金法ハ理論ニ於テコソ方今千八百六十九年度ニ至ルマテ之ヲ履行スルモ實際ニ至テハ大ニ然ラサル者アリ何ソヤ曩ニ海閑内國両税法ト称スル法令ヲ施行スルヤ、、、、、、、、地方委貞ノ書記、課税吏及ヒ其他ノ地方税吏ハ第一季税金ハ第二季税ノ收納期日前ニ在テ之ヲ納付スルヲ得サルヿヲ具状シ加之都會ニ於テハ従来或ハ第一月ニ至リ或ハ會計年度ヲ終ル

マテ倫敦ニ於テ殊ニ然リトス 税金ノ納付ヲ猶豫シ現ニ倫敦府ノ某區ニ於テハ年ヲ終ルマテ收税吏タモ之ヲ選挙スルナキヲ以テ本寮ハ為メニ第四月十一日ヲ以テ其區ノ收税吏ヲ命スヘキノ允可ヲ得タルヿアレハナリ然リトモ雖モ府外ノ地方ニ在テハ全ク前ニ反シ第一二季ノ税金ハ第十月十一月ノ交ニ於テ概子之ヲ大蔵省ニ納付スルニ至レリ

是ヨリ先キ千八百五十八年ニ於テ所得税ノ率ヲ減却スルヤ五辺尼收税吏ノ俸給ヲ收税額一磅ニ付一辺尼半ニ比例シテ支給スルノ制ハ以テ收税吏ノ労ヲ償フニ足ラサルニ至リ現ニ千八百五十九年間一磅ニ付九辺尼ノ税率タルノ時ニ在テスラ保証金ヲ要スル地方ニ於テハ為メニ收税吏ニ任スルノ人ヲ得ルニ難ク殊ニ殊ニ毎季納金ノ制ヲ施行スル以来ハ啻ニ其人ヲ得ルニ難キノミナラス一方ニ向テ之ヲ命スルニ姑ラクモ遷延ス可ラサルノ状勢ニ至リシカ故ニ閣下ハ茲ニ法令ニ據テ定メタル收税吏ノ俸給ヲ以テ現時ノ税率ニ比較シ若シ其額ノ充足ナラサルヿアラハ目下ノ景況ニ應シテ收税額一磅ニ付六辺尼法令ニ據テ定メタル分割ヲ併算スニ超ヘサル金額ヲ支給スルヲ得ヘシトノ令ヲ發シ本寮ニ於テハ即チ其旨ヲ奉シテ之ヲ施行シタリ然リ而シテ此令ニ遵テ千八百六十八年間收税吏ニ支給シタル額外俸給ノ全計ハ實ニ四万七千五百十八磅ナリトス

千八百六十年ニ於テハ鋳道税及ヒ〔ホ〕ノ科目ニ於ケル鋳道會社役員税ヲ鋳道會社本店ノ在ル所ノ地方委員ニ属シテ賦課スルノ制ヲ廃シテ特殊委員ニ委子又當時〔イ〕ノ科目ナル金属坑税及ヒ石坑税ヲ賦課スルニ就テ地方委員ニ對スルノ控訴ハ特殊委員ヲシテ之ヲ判決セシムルノ制ヲ設ケタリ

千八百六十一二年ニ於テハ〔イ〕及ヒ〔ロ〕ノ科目中新タニ一種ノ所

有物税ヲ設ケタリ然リ而シテ之ヲ概スルニ所得税ハ通常四年間ヲ平均シテ之ヲ課收スルニ今又之ニ加フルニ新税ヲ以テシタレハ其收額ノ俄カニ増多スルヤ固ヨリ辭ヲ俟タスシテ明カナリ第参看スヘシ 葉ヲ又特殊委員ハ従来千八百五十三年以来外國會社ノ利金税ノ〻ヲ賦課セシカ此年ニ至テ植民地會社ノ利金ニ於ケル課税ヲモ之ニ委任シ且納税ノ年ヲ終リ諸會社ノ株式ヲ他人ニ譲リ渡ストキハ其税ヲ原ト持主ト譲受人トノ間ニ配當スルヲ得ヘキノ權ヲ地方委員ニ付與シタリ

千八百六十一年第二月下議院ニ於テハ「ホッバルード」氏ノ動議ニ因リ新タニ委員ヲ命シテ更ニ所得税ノ課收ヲ均一ナラシムルノ法ヲ審案セシメタリ是ヨリ先キ千八百五十一年下議院ハ「ヒユー」氏ノ動議ニ因テ委員ヲ命シ前ニ掲クル所ノ問題ヲ考究セシメクリシカ委員等ハ同年第五月ヲ以テ之ニ着手シ漸ク翌年ノ議院ヲ閉鎖セントスルノ機ニ臨ンテ其稿案ヲ編了シタレトモ其閉院期日ノ逼ルヲ以テ「ヒユーム」「ソゼロン」「ロミルリー」ノ三委員ニ於テ編製シタル稿案「デスレリー」氏ノ発議ニ因テ之ヲ廃棄スルニ決シタリ蓋シ「ヒユーム」氏等ノ改正案ノ要領ハ所得税ヲ賦課スル為メニ第一所有物ノ價位ト第二所有主ニ於テ定ムル借地ノ方法及ヒ第三所有主ノ年齢トニ準據シテ各種ノ所得ヲ資本ト為シ以テ之ニ課税スルニ在レハ千八百六十一年ノ委員ハ先ツ第一ニ其要領ヲ摘挙シ次ニ左ノ考説ヲ付シタリ其文ニ曰ク

此回ノ委員ニ於テ編製スル考案ノ要領ハ全ク前日ト其旨趣ヲ異ニシテ先ツ議長之ヲ發議シ委員ノ討議ヲ經テ説明ヲ經ルモノニシテ其目ハ即チ左ニ掲クル所ノ如シ

第一 所得税ハ所得ノ概計ニ因ラス其實計ニ従テ之ヲ課

シ即チ歳費ノ實額ヲ以テ所得ノ實計ヲ推サス所得ノ概計中ヨリ或ル者ヲ平均乘除シテ之ヲ定ムル事

第二　各種ノ所得ヲ大別シテ二種トナシ所謂自然ノ所得〔甲〕ニ係ルモノト励業ノ所得〔乙〕ニ係ル者トヲ區別シテ甲ノ税ハ之ヲ其全額ニ課シ乙ノ税ハ其額ヲ三分シテ其二ニ課スル事

第三　所得ノ或者資本ニ供シタル時ハ其元金ヨリ生スル利子ト漸次割賦返辨スル所ノ元金トヲ區別シ其税ヲ利子ニ課シテ元金ニ課セサル事

今ヤ方今ノ所得税法ヲ非難スル者ノ説ヲ聞クニ曰ク今日ノ税法ハ所有主ヲシテ其実ニ享ケサルノ所得ニ納税セシムルナリ曰ク其税ハ所有物ニ輕シテ人民ノ工藝ト励業トニ帰着スルヤ重シ曰ク人民ノ資本ヲ待ツ丁恰モ所得ニ於ケルカ如ク随テ其税ヲ納ノシムルナリト此数者ハ即チ人民一般ノ愁訴スル所ナルヲ以テ委員ニ於テハ能ク其原由ヲ察シテ前ニ掲クル所ノ改正案ヲ草制シタレハ其法ヤ以テ人民ノ愁訴ニ應スルニ足ルヲ自信セリ然ルニ此改正案ハ本會ノ議ヲ經ルノ後チ啻ニ所得税ヲシテ均一ナラシムルニ足ラサルノミナラス到底實際ニ施ス可ラサルノ理論トシ且此新法ノ未タ充ニ熟セサルニ先ツ之ヲ施サハ或ハ今日ノ税法ヲ紊乱スルヿアランヲ恐レテ議院ニ紹介セサルニ決シ又別ニ委員二名ヲ選ンテ更ニ考究スル所アラシメタルニ該委員ハ即チ他ニ施スヘキノ良法ナキヲ告ケタリ依テ本會委員ハ今ヤ人民ノ愁訴スル所ハ所得税法中ノ一部ニ止ラスシテ其全体ノ精神ニ在ルヘキヲ信シ其法ヲ改正スルニ臨ンテハ必ラス近頃新設スル所ノ税及ヒ相續税等ヲ併セテ審案セサル可ラサルニ決セ

リ云云

夫レ「ヒユーム」「ホッバルド」二氏ノ畫策スル所ハ形体ニ就テコソ多少ノ不同アレ其精神ニ至テハ決シテ異ナル無キヲ信ス何トナレハ則チ其一ニ従ヘハ無期年金ハ三十三年ノ購價ヲ以テシ商業ノ所得ハ二十二年ノ購價ヲ以テ財本ト為シ之ニ同率ノ税ヲ課セントスル欲シ其二ハ商業ノ所得ハ年金ニ比スレハ其三分一ヲ減シ所得一磅ニ付若干ノ税ヲ課セント欲スルニ在ルカ故ニ其結局タルヤ彼此同一ニシテ唯々之ニ達スルノ異ナル所アルノミ憶フニ此等ノ考案ハ皮相ヨリ之ヲ観レハ或ハ称讃スルニ足ルカノ如シト雖トモ比シリ是レ実際ニ施行ス可ラサル者タルヲ如何センヤ抑々所得税法ノ我邦ニ於ケル最モ簡便ニシテ且衆庶ノ諒解シ易キ者ヲ施行スルヲ良トス故ニ其法ノ錯雑優美ナルハ啻ニ實際ニ施行スル能ハサルノミナラス一旦之ヲ行フモ終ニハ人民ノ満意ヲ欽キ其厭棄スル所トナルヤ必ス〻セリ

要スルニ本寮十三年間ノ経驗ニ據テ考フレハ曾テ第一回報告書ニ開陳スルカ如ク我邦ノ所得税ハ唯々今日ニ施行スルノ法アリテ之ヲ課スルヲ得ルト云ハンノミ按スルニ哥剌土斯頓氏カ千八百五十三年ヲ以テ演説シタル會計法案及ヒ「フラーセツト」氏ノ經濟書中所得税ノ問題ニ関シテ頗ル論述スル所アリト雖モ姑ラク之ヲ演説スルヲ止メ唯茲ニ哥剌土斯頓氏ノ所見ノ要領ヲ掲ケンニ若シ方今ノ税法ニ據テ土地及ヒ家屋ヲ九辺尼ヲ課セハ〔三〕ノ科目ニ於ケル税ハ之ヲ七辺尼ニ減セサル可ラスト云ヘリ

千八百六十二年間所得税法ニ関スル改正ハ前既ニ開陳スルカ如ク第参葉ヲ本寮ニ於テ一區内ニ二名以上ノ收税吏ヲ命スルノ權ヲ得タル即チ是ナリ其翌年ニ在テハ所得税一磅ニ付九

辺尼ナルヲ減シテ七辺尼ト為シ又従前百磅未満ノ所得ヲ享ル者ニハ其税ヲ全免シ百磅ヨリ百五十磅ニ至ルマテヲ享ル者ニハ其税率ヲ輕減セシカ今ヤ百磅未満ヲ享ル者ハ之ヲ不問ニ付シ其一年百磅ヨリ二百磅ニ至ル所得ヲ享ル者ニハ六十磅ヲ減シテ其残額ニ税ヲ課スルノ法ヲ設ケタリ始メ哥剌土斯頓氏カ此改正案ヲ下議院ニ紹介スルニ當テヤ所得税ヲ賦課スルハ一ケ年百磅ヨリ二百磅ニ至ルマテヲ享ル者ニ在テ殊ニ困難ナリトス故ニ若シ余カ考説ヲシテ果シテ行ハシメハ従来僅額ノ所得即チ百磅ヨリ百五十磅ニ至ルマテヲ享ル者ニ就テ其税ヲ課スルヲ得サルノ弊ハ直ニ之ヲ除却スルヲ得ヘシト云ヒシニ同氏ノ考説ニ従テ税法ヲ改正スル以来ハ人民ニ拉テ收税吏ノ要求ニ應シテ納税スルヲ得ス依テ本寮ニ願訴スル者ハ遽ニ其数ヲ減シ且少シク百磅ニ超過スル所得ヲ享ル者カ課税ニ就テ控訴スルハ甚タ尠ナキニ至レリ是レ他ナシ曩ニ所得百磅ノ額ヲ減セスシテ其税ヲ課スルニ當リヤ人民ハ頻リニ奸計ヲ回ラシテ其所得ヲ百磅未満タラシメ以テ納税ヲ逃レンコヲ務メタレトモ今ヤ其事ノ無益ナルヲ悟リ復タ昔日ノ如ク屢々控訴スルヲ須要トセサレハナリ然リ而シテ此改正法ノ未タ國内一般ニ流布セサルヤ人民ハ其所得額ノ免税ノ特典ヲ有スル域内ニ在ルヿヲ証明セシカ為メニ特殊委員ニ控訴シタルニ特殊委員カ自己ノ手ニ在テ課税スルモ必ラス所得ノ全額ヨリ六十磅ヲ減シテ其税ヲ課スヘシト告クルヲ聞テ遽ニ控訴状ノ却下ヲ願フ者甚タ多カリシト云フ將タ千八百六十三年度ニ在テ課税ヲ免シタル所得ノ總額ハ大約一千万磅ニシテ其翌年ニ至テハ一千二百万磅餘ニ及ヘリ

又此年ニ於テハ本来地税ノ為メニ設定シタル收税區ヲ所得税

ニ併用スルノ便ナラサルヲ以テ之ヲ改正シタリシカ抑々従来ノ收税區法ニ據ルニ所謂特殊管理ニ属スル許多ノ都市一州毎ニ必ラス一都市以上ヲ含有スハ各々收税區畫ヲ為シテ別ニ委員ヲ設クルカ故ニ其區畫外ノ近傍ニ住スル人民ノ為メニハ控訴スルニ於テ最モ便要ノ地トス然ルニ三税委員ニ於テ自己管轄ノ區畫外ニ於テ會議ヲ開クハ法令ノ許サヽル所ナレハ其近傍ノ小區ニ住スル納税者ノ便ヲ欽クヤ蓋レ尠少ニ非サルナリ是レ新タニ法令ヲ以テ三税委員ニ其管轄小區ノ近傍ニ在ル都市ニ於テ會議ヲ開クヲ得ヘキヲ認可セシ所以ナリ將タ鐵道税ハ〔イ〕ノ科目ニ属シテ之ヲ課スルト雖モ其業タルヤ固ヨリ〔ニ〕ノ科目ニ於ケル商業ニ異ナル所アルニ非ス然ルニ從来ノ税法ニ據ルニ鐵道税ハ之ヲ其利益ノ全額ニ扨メ其額若干ヲ減レテ納税スルノ特典ヲ許サヽルハ決シテ公平ノ處置ナリト云フ可ラサルナリ依テ本案ニ於テハ閣下ノ裁可ヲ經テ左ノ数目ヲ減レテ課税スヘキニ決セリ

第一反對ノ政策ニ抗スル為メニ費シタル議院及ヒ其他ノ場所ニ於テノ費用

第二鐵道線ヲ増築シ或ハ之ヲ接續スル為メニ費シタル前同様ノ費用

第三役夫扶助金ト称シ鐵道會社ニ使役スル役夫ノ為メニ積立タル恵典金

此三目中第一項ノ費用ハ鐵道會社ヲ維持スルニ供シ為メニ株主ノ利益金ヲ減シタレハ固ヨリ其額ヲ除テ課税セサル可ラス ト雖モ其第二項ニ至テハ唯々會社ニ於テ鐵道線路ヲ増築シ或ハ之ヲ接續セント欲シテ政府ニ請願シ其許可ヲ得サル時ニ限リ其費額ヲ除却ス

従来借地ニ在ル鉄道線ノ借主ハ所得ノ額ヨリ自ラ拂出シタル地代ヲ打除シテ其税ヲ納ムルヲ得ルハ法令ノ許可スル所ナリ然ルニ其貸主ニ於テハ或ハ株主ニ利益ヲ分配シ或ハ株券ノ授受ヲ記録シ其他一切ノ事務ヲ處辨スル為メニ支配人及ト書記等ヲ命セサル可ラサルモ為メニ其費額ヲ打除シテ其税ヲ納ムルヲ得ス是ヲ以テ本寮ニ於テハ聊カ鄙見ヲ開陳シテ此種ノ會社ニ許スニ前ノ費額ヲ打除納税スル・ノ特典ヲ以テセラレンコヲ請フテ閣下ノ允可ヲ得タリキ

亜墨利加戦争ノ起ルニ遭テ綿布製造ノ衰フルヤ所得税法中綿布製造所ニ於テ工業ヲ廃停スルノ間ハ所得税ヲ免除スヘシトノ明條アキヲ以テ本寮ニ於テハ閣下ノ裁可ヲ經テ住居セサル家屋ノ例ニ準シ其税ヲ免除シ又千八百六十三年ハ哥剌土斯頓氏ノ発議ニ因テ恵典金ニ所得税ヲ免除スルノ制ヲ廃止スルノ年ニシテ即チ所得税法ノ史編ニ於テ殊ニ注意ヲ要スヘキ者トス

〔千八百六十四五年〕本年ニ於テハ所得税一磅ニ付七辺尼ナルヲ減シテ六辺尼ト為セシカ〔イ〕及ト〔ニ〕ノ科目ニ於ケル課税ハ殊ニ満足ナル結果ヲ呈セリ

〔千八百六十五六年〕本年ノ所得税ヲ一磅ニ付四辺尼トス此年本寮ニ於テハ普通委員及ト委員補ノ欠員アルニ遭ヘハ七名ヨリ十四名ニ至ルマテヲ命スルヲ得ヘキノ権ヲ得且同法令ニ因テ千八百四十二年ノ法令第百三十三條ヲ改正シタリ抑〻〔ニ〕ノ科目ニ就テ申述書ヲ呈セシムルノ本旨ハ當年ノ所得ヲ前三年間ニ平均シテ其平均額ニ税ヲ課センカ為ノナリ故ニ千八百四十二年ノ法令第百三十三條ニ若シ申述書ヲ呈シテ其年ヲ終ルニ臨ミ一歳ノ所得額ノ前三年間ノ平均額ニ減スルヿアラハ其税

ハ所得ノ現額ニ比例シテ之ヲ減免スヘシト云ヘリ是レ蓋シ一方ニ偏倚スルノ法ナルノミ其故何トナレハ該法ニ於テハ唯々所得ノ前三年間ノ平均額ニ減スル時之ヲ處分スルノ法ノミヲ掲ケテ其之ニ超過スル時ノ法ヲ載セサルノミナラス実ニ該法ニ據レハ其所得ノ前三年ノ平均額ニ減スルトハ為メニ減免税ノ還償ヲ弟ケ其翌年ニ至テ前年ノ所得ヲ併セテ三年間ニ平均スル時ハ自ラ其税ノ減スルニ至ルヲ以テ恰モ一種ノ損失ニ向テ二種ノ税ヲ免スルニ異ナラサレハナリ如斯ナルカ故ニ千八百六十五年ニ於テハ凡ソ課税年間ノ所得ノ額タル之ヲ前三年ニ併算シテ其平均額ニ減スルニ非サルヨリハ第百三十三條ニ掲クルカ如ク其年ノ所得ノ現額ニ従テ其税ヲ課シ或ハ為メニ既納税ヲ還償セサルヘシトノ一項ヲ追加シタリト雖モ此法ヤ唯々一部ノ弊害ヲ療スルニ足ルモ未タ以テ全局部ノ弊害ヲ醫スルニ足ラサルナリ蓋シ三年間ノ所得ヲ平均シテ其税ヲ課スルノ法ヲ廃セス能ク政府(納税者ノ間不利ヲ生セサルノ良法アル乎否ハ未タ今日ニ至ル迄決セサルノ問題ナリト雖モ苟モ第十二月三十一日ヲ以テ終ル前年間ニ享タル所得ノ實額ニ従ヒ其税ヲ課スルノ制ヲ定メシノハ或ハ其弊害ナキニ庶幾ラン乎

〔千八百六十六七年〕本年ノ所得税ハ一磅ニ付五辺尼トス此年ニ在テハ所得税ノ科目ヲ改正シ鋏道、金属坑、石坑、鋏製造、尾斯製造、溝渠等ノ如キハ其性質タルヤ全ク商業ニ属スト雖モ従来土地、家屋ト共ニ〔イ〕ノ科目ニ附シテ其税ヲ課スルノ適當ナラサルヲ以テ新タニ之ヲ〔三〕ノ科目中ニ編入シタリ

〔千八百六十七八年〕本年ノ所得税ハ千八百六十六年ニ於ケルカ如ク一磅ニ付四辺尼ヲ課セリト雖モ「アビシニヤ」戦争ノ起ルニ

遭テ之ヲ五辺尼ニマテ増加セリ蓋シ此増税ノ法令ハ漸ク第十二月初旬ヲ過キテ之ヲ布告シ此時ニ至テハ既ニ一磅ニ付四辺尼ノ割合ヲ以テ納税シタルモノ甚タ多カリシカ故ニ其増税額ハ総テ後半年間ニ於テ收納スヘキヿヲ令シタリ是ヲ以テ前半年ハ四辺尼ニシテ後半年ノ税ハ六辺尼トナレリ

〔千八百六十八九年〕本年ニ於テ所得ニ関スル法令ノ率革ハ印度會社ノ利金ヲ以テ合衆王國内ニ於テ拂出スル年金及ヒ賑恤金ニ課税スルノ法ヲ擴充シテ外國會社ノ利金ニ及ホスノ一項トス然リ而シテ此税ハ直接ニ其利金ヲ享ル者ニ就テ課セス該會社ヲシテ之ヲ收入シムル者トス〔本年ノ税率ハ一磅ニ付六辺尼ナリトス〕

〔千八百六十九、七十年〕毎季收税〔制〕ヲ廃シテ之ヲ代ルニ毎年收税ノ法ヲ以テシタルハ前既ニ之ヲ開陳セリ而シテ今日ノ狀勢ヲ以テ考フレハ此法ハ滿足ノ結果ヲ呈スル者ノ如シ加之本年ニ於テハ首府内課税スヘキ所有物ノ價位ヲ平均スル法令ト称スル者ヲ布告セシカ此法令ノ旨趣タルヤ専ラ地方税ニ関シテ所有物ノ價位ヲ平均豫定スルニ在ルカ故ニ其所有物價位表ハ州税、公共税、寺院維持税、警察税等ヲ課スルノ基礎ト為スニ足ルヘク又信審官、聖會執事（ウエストリーマン）等ヲ選挙スルノ標準トスルニ足ルヘクシテ其納税者ニ便益ヲ與フルヤ更ニ疑ヲ容ルヘカラス況ンヤ國税ニ関シテハ以テ國産税ヲ課スルノ飲料ノ販賣免許ヲ允可スルノ準標トスルニ足リ以テ家屋税及ヒ〔イ〕ノ科目ニ於ケル所得税ヲ課スルノ基礎トスルニ足ルニ於テヲヤ

既ニ如斯ク所得税ノ沿革ヲ挙ケテ其概要ヲ示シタレハ今ヤ昨年即チ千八百六十七八年間ニ就テ更ニ詳説スル所ナカル可ラス蓋シ本年間〔イ〕ノ科目ニ於ケル所有物ノ價額ハ之ヲ前年ニ比スレハ五千

七百〇二萬四千磅ヲ増加シ内五百五十四万六千磅ハ則チ英倫全國ノ家屋ノ價額ニシテ「ミッドルセッキス」ノ一州ニ於ケルモ其額ハ百七十五万四千磅ニ下ラス而シテ今其價額ノ増加シタル数ヲ英蘇愛ノ三國ニ比較スレハ則チ左ノ如クナルヲ見ル

	分	厘	毛
英倫	八	八	七
蘇格蘭	五	八	八
愛尓蘭	一	一	六

千八百五十三年ヨリ千八百六十七年ニ至ルノ間〔イ〕ノ科目ニ於ケル地税及ヒ家屋税等ノ收入増加ノ割合ハ左ノ表ニ示ス所ノ如クニシテ家屋税増加ノ割合ハ則チ千八百六十四年ヨリ千八百六十七年ニ至ルノ間ニ多クシテ其以前ニ尠シ故ニ之ヲ十四年間ニ平均スレハ五割八分七厘七毛トナル

左ノ表ハ千八百五十三年ヨリ千八百六十七年ニ至ルノ間ノ大貌利顛國ニ於テ所得税ヲ課スル時〔イ〕ノ科目ニ在テ所有物價額ノ増加シタル割合ヲ示ス

				土地	家屋
所有物價額ノ概計		千八百五十三年	磅	四七五五九、四七四	四六九五九、三三八
		千八百五十七年	磅	四九五七二、八七三	五二一四二、四九九
千八百五十三年ニ比スル	千八百五十七年ノ増加	増額	磅	二、〇一三、三九九	五、一八三、一六一
		増加ノ割合	四ヶ年	四、二三	一一、〇三
			一年	一、〇六	二、七六
千八百六十一年ニ於ケル所有物價額ノ概計			磅	五一、七五二、七七二	五八、五九〇、三九五
千八百五十七年ニ比スレハ	千八百六十一年ノ増加	増額	磅	二、一七九、八九九	六、四四七、八九六
		増加割合	四ヶ年	四、三九	一二、三六
			一年	一、一〇	三、〇九

千八百六十七年間〔ロ〕ノ科目ニ於ケル價額ノ増進ハ之ヲ千八百六十六年ニ比スレハ二百零三萬八千磅ニシテ更ニ英蘇愛ノ三國ニ比較スレハ則チ尤ノ如クナリトス

英倫	一、七七一、〇〇〇磅	六、一五分厘七
蘇格蘭	二二六、〇〇〇磅	五、九二
愛再蘭	四一、〇〇〇磅	一、三八

今夫レ英倫ニ於ケル〔ロ〕ノ科目ヲ以テ〔イ〕ノ科目ノ地價百二十一萬九千磅ニ對比スルニ特リ〔ロ〕ノ科目ニ至テ如斯キ非常ノ増進ヲ為スハ何ソヤ是レ蓋シ免税ノ係ル小作地ノ價額ヲ算入スルト曩ニ小作人ノ地代ハ一ヶ年二百磅〔小作人ノ收益ヲ認ノテ地代ノ半價ト為ス〕未満ナルノ故ヲ以テ其税ヲ免除セシニ今ヤ地代ノ騰貴スル自ラ其税ヲ課スルノ域内ニ至リシニ因ル也

〔二〕ノ科目ニ於ケル商業及ヒ生業ノ價額ハ二百七十六萬八千磅

ノ増加ニシテ其會社ニ課税シタル價額ノ増進ハ少クモ九十萬六千磅ニ下ラス今茲ニ〔二〕ノ科目ニ於テ増減ノ最モ甚シキ者ヲ掲ケンニ鐵道ハ英倫ニ於テ三萬三千磅蘇格蘭ニ於テ三萬千磅ヲ増シ金屬坑ノ英倫ニ於ケルハ十八萬六千磅愛尔蘭ニ於ケルハ一萬磅ヲ増シテ蘇格蘭ハ之ニ反シテ六萬三千磅ヲ減ス而シテ石坑ノ英倫ニ於ケルハ五萬七千磅ノ増加ナリトス又漁業ハ英倫ニ於テ一萬七千磅蘇格蘭ニ於テ八千磅愛尔蘭ニ於テ九千磅ヲ増シ英倫ノ鐵製造ハ三十三萬千磅ヲ減シ其瓦斯製造ニ於ケルモ亦英倫ニ於テハ十五萬千磅ヲ減シ蘇格蘭ニ於テハ一萬五千磅ヲ減ス

今夫レ〔三〕ノ科目ニ於ケル商業生業ノ價格ヲ比較スル恰〔イ〕ノ科目ヨリ於ケルカ如クナラシノ其大貌列顛國ニ在テノ割合ハ即チ左ニ示ス所ノ如シ

一ヶ年増加ノ平均

		分厘毛
千八百五十三年ヨリ千八百五十七年ニ至ルノ間	一、七三	
千八百五十七年ヨリ千八百六十年ニ至ルノ間	二、七四	
千八百六十一年ヨリ千八百六十四年ニ至ルノ間	九、三〇	
千八百六十四年ヨリ千八百六十七年ニ至ルノ間 米	五、五五	

米 鐵道、金屬坑、石坑等ハ千八百六十六年前ニ在テハ〔イ〕ノ科目ニ属シ今ヤ〔三〕ノ科目ニ属スト雖モ茲ニハ之ヲ乘除セス

千八百五十三年ヨリ千八百六十七年ニ至ル間ノ増額ヲ求ムルハ平均七割七分零九毛ニシテ即チ一ヶ年五分五厘ノ増加ニ當リ又同年間愛尔蘭ニ在テハ四割三分一厘一毛ノ平均増額ニシテ一ヶ年三分零八毛ノ増加ニ當ルト雖モ今更ニ千八百六十四年ヨリ千八百六十七年ニ至ルノ間ヲ顧レハ一ヶ年ノ平均増加タル九分九厘二毛ニ至ルカ故ニ之ヲ前十一年間即チ千八百五十三年ヨリ千八百六十四年ニ至ルノ間ノ増額僅ニ九厘二毛ナ

ルニ比スレハ殊ニ満足ノ結果ヲ呈セリト云ハサル可ラス

一歳ノ所得二百磅未満ナルノ故ヲ以テ六十磅ヲ打除シテ其税ヲ納ノンコヲ請フ者日々ニ其数ヲ増シ現ニ千八百六十七年間ニ在テハ千八百六十六年ニ超ユル一萬千五百三十九名ノ多キニ及ヒ為メニ課税ヲ免シタル價額ハ一千四百二十六萬二千磅ニ至レリ

夫レ所得税ニ係ル統計表ノ信依スルニ足ラサルヤ曩ニ屢々年報書中ニ開陳スル所ノ如シ是レ蓋シ四季收税法ニ因テ課收シタル一歳ノ額ハ前年収税三分一ト翌年ノ收税三分二ヲ含ミ未タ必スシモ全週歳ノ收税額ヲ為サヽレハナリ況ンヤ所得税ノ率ヲ軽重増減スルノ等ニ遭テ其結果ノ良否如何ヲ知ルニ於テヲヤ試ニ千八百六十八年ニ於テ下議院ノ刊行ニ係ル統計表ヲ見ヨ所得税ハ以テ英愛両國ノ富源ノ多寡ヲトスルニ足ル者トナシ即チ所得ノ價額ヲ比較シタルニ其極ヤ英倫ニ於テハ所得ノ價額百磅ニ付其税十七磅十四司令ニ當リ愛尔蘭ニ於テハ二十九磅十司令七邊尼半ニ當レリ故ニ今英倫ノ富ヲ十七トスレハ愛尔蘭ノ富ハ二十九ナラサル可カラス嗚呼如斯キハ豈ニ其實状ヲ示ス者ナランヤ所得税ニ因テ富源ノ多寡ヲトスルハ佳ハ則チ佳ナリト雖モ其両國間ニ異ナル所ノ實状ヲ示スニ非サレハ決シテ益スル所ナカルヘシ依テ先ツ〔イ〕ノ課目ヲ以テ始メ漸次ニ他ノ科目ニ及サントス

〔イ〕ノ課目ニ属スル土地家屋ノ税タル英倫ニ於テハ其毎年ノ實價ニ從テ之ヲ課スルト雖モ愛尔蘭ニ在テハ否ラス特殊ノ法令ニ據リ恒ニ濟貧税ニ準擬シテ其税ヲ收ムルカ故ニ之ヲ英倫ノ實價ニ從フニ比スレハ其價位ノ減スルヤ少クモ二割ニ下ラス其〔ロ〕ノ科目ニ於ケルモ亦如斯ナルノミ次ニ〔ハ〕ノ科目ヲ比較ス

ルニ更ニ前項ヨリ甚シキ者アリ何ソヤ抑モ〔ハ〕ノ科目ニ属スル課税ノ價額ハ英愛両國ノ銀行カ各拂出スル所ノ配分金ト外國及ヒ植民地政府ノ歳入ヨリ出テヽ而シテ之ヲ合衆王國ニテ拂出タル金トニ因テ成リ其價額タル英倫ニ於テハ三千二百五十萬磅ニシテ愛尓蘭ニ於テハ百十一萬五千磅ナリトス然リ而シテ英倫ノ價額中ニハ當ニ蘇格蘭愛尓蘭植民地及ヒ外國人民カ我政府ノ公債証書ヲ買収シタル元金及ヒ利子等ヲ算入スルノヽナラス例令ハ印度植民地、佛蘭西、丁抹、蒙古蘭、魯西亞、土耳格及ヒ其他政府ノ國債ノ如キ愛尓蘭人ニ於テ之ニ應シタル金額ヲ算入スレハナリ〔ニ〕ノ科目ニ於テモ亦前ニ同シキ状勢ナシトセス夫レ倫敦ノ地タル全州貿易ノ要衝銀行會社等ノ在ル所ニシテ外國及ヒ植民地ノ貿易ハ多クハ此地ニ於テス故ニ愛尓蘭人カ愛尓蘭ノ支店ニ於テ享ケ得タル利益ノ税ハ之ヲ倫敦ノ本店ニ致シテ收納スルノ例ニ之シカラス然ラハ則チ其利益ノ價額ハ既ニ之ヲ英倫ノ部内ニ算入シタル也又〔ホ〕ノ科目ヲ見ヨ英倫ニ及ケル俸給及ヒ公私役員ノ養老金ノ額ハ一千九百萬磅ニシテ其愛尓蘭ニ於ケルハ僅ニ百萬磅ナリトス是レ他ナシ會社役員ノ俸給税ハ之ヲ英倫ノ本店ニ於テ收納シ政府ノ官吏及ヒ海陸軍士官ノ俸給税ハ悉ク之ヲ倫敦ニ於テシ其愛尓蘭ニ在勤スル官吏ノ俸給税モ亦多クハ之ヲ英倫ニ於テ收納スレハナリ將タ英愛両國ニ於ケル課税ノ價額ヲ比較スルニ其実数ヲ得ルノ方法ハ如何シテ可ナルヘキ乎ハ之ヲ今日ニ明言スル能ハスト雖モ千八百六十八年ノ統計表ヲ以テハ決シテ此般ノ惑ヲ解クニ足ラサルヘシト信ス

夫レ〔二〕ノ科目ニ於テ詐偽ノ申述書ヲ呈シテ脱税ヲ計ルノ状ハ曩ニ屢閣下ニ陳言スル所ノ如シ而シテ脱税ノ事タル年トシテ

之ナキハ無ク嚮ニハ虚辞ヲ構ヘ後チ悔悟シテ其税ヲ納ムル者アルニ因テ實ニ其然ルヲ知ル現ニ本寮ニ於テハ申述書ニ載セサル所得税ヲ收ムル一ハ二三年前ニ於テ一萬千磅ノ額ヲ為シ一ハ千八百六十五年ニ在テ一萬〇五百磅ノ額ヲ為セリ而シテ今此一萬〇五百磅ヲ課税ノ初年(即チ千八百四十二年)ヨリ千八百六十五年第四月ニ至ル間ノ税率ニ照シテ乗除平均スレハ政府ニ於テハ毎年一萬三千磅ノ所得税ヲ失シタリト云ハサルヘカラス

脱税ノ為メニ政府ノ歳入ヲ失フタルノ額ニシテ頗ル信據スルニ足ルヘキノ数ハ輓近ニ至ルマテ之ヲ暗筭スルヲ得サリキ先是倫敦工作局ノ手ニ在テ数宇ノ家屋ヲ壞倒スルヤ所得税ノ償還ヲ要ムル者益シ一ニシテ足ラス現ニ本寮ノ官吏ハ此種ノ要求ニ係ル者二百名ヲ審理スルニ當リ八十名(四割)ハ全ク詐偽ニ出テ其人民ニ於テ要求スル所ノ價額ヲ問ヘバ総計七萬三千六百四十二磅ナリト云フト虽モ其實額ハ十七萬千三百七十磅ニ過キスシテ即チ九萬七千七百二十八磅ノ差異タルヿヲ看破セリ於是乎本寮ニ於テハ此比例ヲ推シテ全國内(三)ノ科目ニ就テ呈スル所ノ申述書ノ詐偽ニ出ルカ為メニ幾許ノ税額ヲ失フクル乎ヲ暗筭スルノ不當ニ非サルヲ知レリ憶ニ如斯キ詐偽ノ申述書ヲシテ前後絶テ之ナキノ事タラシノハ其歳入ノ失額ヲ暗算スルハ固ヨリ無益ノ業タルニ過キスト雖モ既ニ閣下ノ熟知セラルヽ如ク商業生業ノ場合ニ於テ申述書ヲ呈スル其實ニ因ラス或ハ曩キニ訟師ノ特典ヲ廃止スルニ當リ閣下ニ迫ルニ復償ノ事ヲ以テシ或ハ公益ノ為メニ許多ノ商店ヲ壞倒スルニ際スルモ商賈ニ於テ亦之ニ比シキ要求アリテ其請フ所ノ復償タル悉ク虚構ニ出テサルハ無シ然ハ則チ前ニ掲クルカ如キ殊

ニ輓近ニ起ル所ノ的例ヲ以テ比較ノ標準トスルモ豈不可ナリトセンヤ

此的例ニ據ルニ二百名ノ内八十名即チ全数ノ四割ハ既ニ虚構ノ申述書ヲ呈シテ課税ノ價額十六割ヲ詐リタリ故ニ苟モ此虚構ノ申述ヲシテ莫ラシメハ夫ノ課税價額ノ十六割ハ之ヲ政府ニ收入スルヲ得ヘキ者ト假定シ試ニ千八百六十四年度間〔二〕ノ科目ニ於ケル納税者ノ数ヲ筭スルニ総計三十五萬〇五百十二名ニシテ其四割ハ十四萬〇二百〇四名トナレハ此数名ハ則チ全國内虚構ノ申述書ヲ呈スル者ナリト認メサルヘカラス然リ而シテ千八百六十四年ニ在テ〔三〕ノ科目ニ於ケル課額ハ総計一億千〇十萬五千七百六十六磅ニシテ假リニ納税者ノ申述スル價額ヲ平均シテ其四割ヲ取ル片ハ四千四百〇四萬二千三百〇六磅トナリ其應ニ申述スヘキ價額ハ一億〇百二十九萬七千三百〇三磅〔現ニ申述シタル價額ニ十三割ヲ加ナラサル可ラサルヲ以テ其差五千七百二十五萬四千九百九十七磅ハ虚構ニ因テ脱税スルノ額タリ而シテ今又之ニ現今ノ税率一磅ニ付六邉尼ヲ乗スル片ハ百四十三萬千三百七十四磅ノ額ト成ル是レ之ヲ〔二〕ノ科目ニ於テ虚構ノ申述ノ為メニ其税ヲ失フノ額トス蓋シ如斯ノ筭計ハ決シテ理ニ於テ疑フヘキ非ス又決シテ一方ニ偏倚シタルノ過筭ニ非ス是レ則チ前ニ開陳スルカ如ク〔三〕ノ科目ニ於ケル納税者ニシテ其申述ノ額ヲ減セサル無キト本寮ニ保存スル商社及ヒ合本會社ノ減額申述録トニ就テ其實ニ然ルヲ諒知スベシ

憶フニ所得税ニ係ル申述ノ減額タルヤ悉ク故意ニ出ルニ非ス或ハ一時ノ謬誤ニ出ル者亦尠シトセス然リト雖モ其原由ハ孰ニ在ルニ拘ラス其結果ニ至テハ到底相同カラサルヲ得ス而シ

テ苟モ前ノ的例ノ如キ巨額ノ脱税アリトセハ安ンソ一人ノ免
税ハ他人ノ過税ナリトノ法語ヲ擴充シテ苟モ〔二〕ノ科目ニ於テ
至當ノ税ヲ納ムルヿアラシメハ今日ノ苛税ハ之ヲ免ルヽヲ得
ヘシト云ハサルヲ得ンヤ將タ土地、家屋、分配金、政府官吏ノ俸給
及ヒ養老金等ニ課スルノ税ハ曾テ之ヲ免ルヽ者アルヲ見ス
今ヤ筆ヲ擱クニ當リ更ニ一言セサル可ラサル者アリ抑々脱税
者ニ科スル罰金タル其額僅少ニシテ其得ル所ヲ以テ其失フ所
ヲ償フニ足ラス然リ而シテ所得税法ニ據レハ納税者カ控訴ス
ルニ當リ地方委員ニ於テ増税ヲ課スベシト判決スル片ハ之ニ
二倍ノ罰金ヲ科スルヲ得ルノ明文アリト雖モ該委員ニ於テハ
寔ニ避ク可ラサルノ情状アリテ之ヲ實行スルヲ得ス故ニ苟モ
事渋滞ニ亘リ巨費ヲ要スルノ會計裁判所ニ控訴セシムルノ制
ヲ廢シテ之ヲ地方裁判所ニ任セシメハ大ニ政府ノ權勢ヲ強ム
ルニ至ルヘキヲ信スル也

大藏